

CHAPTER 2 「選ぶ」について

私たちの周りには、いろいろなお店があり、選びきれないほどの多くの商品があります。私たちは、たくさんあるお店、商品の中から欲しいものを選び、買い物をしています。本当に自分にとって必要なもの、目的に合った商品を選んで買い物をしているでしょうか。



新商品が発売されたり、宣伝や広告を目にしたりとすると、本当は必要がないのに買いたくなってしまいます。商品を選ぶ時には、まず「今の自分にとって必要か」を考えなくてはなりません。必要だとしたら、次のポイントを考えることを習慣にしましょう。

商品を選ぶ4つのポイント

● 価格

- ◎ 高すぎず、安すぎないか。
- ◎ あらかじめ考えていた予算内なのか。
- ◎ 同じ商品でも店や日によって価格が違うことはないか。

● 品質・機能・安全性

- ◎ 材料や素材、品質は良いか。
- ◎ 目的に合った機能、サイズかどうか。
- ◎ 使う(食べる)にあたっては安全かどうか。危険はないか。

● 保証・アフターサービス

- ◎ 保証書や取扱説明書(使用マニュアル)があるか。
- ◎ アフターサービスはあるか。
- ◎ 保証の期間や内容はしっかりしているか。
- ◎ 保証の内容は無料か有料か。

● 環境

- ◎ 環境に気を配った材料を使っているかどうか。
- ◎ 資源やエネルギーの節約に役立つかどうか。
- ◎ 使い終わった後にリサイクルはできるか。
- ◎ 包装が大きさでないか。

マークを目安に商品を選ぼう

安全や品質についての基準を満たした商品には、SGマークやPSEマークなどがついています。

SGマーク
 一般財団法人製品安全協会が安全な製品として認めたマーク。

PSEマーク
 法律を守って作られた電化製品につけられるマーク。

このようなポイントを理解するためには、実際にお店で商品を見る前に、新聞、雑誌やテレビの広告、パンフレットなどから情報を集めて整理しておく便利です。売り手からの情報は良い点だけを強調していることもあるので、より多くの情報を集め、じっくり考える習慣を付けましょう。また、不用なものまで購入したり、使えるものまで捨てたり、物を粗末に扱ったりしていないか見直しましょう。

！ 行動ポイント
 商品を買うその前に、選ぶための情報を集め、考える習慣を身につけよう。

購入後は、商品についている取扱説明書をよく読んで、正しい使い方をし、大切に扱きましょう。また、定期的に点検するなどして、危険を防ぎましょう。